

記憶装置の分類

一般的には複数種類のメモリを組み合わせ使用 → 「メモリシステム」
色々な目的のために使用される

下記 1, 3 は購入時におおむね決まってしまう。2 は増設可能。

1 メインメモリ

情報・データを処理する作業場所

→ より多いほうが、複雑な作業をよりスムーズに実行できる

2 補助記憶装置

情報をファイルの形式で保存する装置

→ より多いほうが、ファイルをより多く保存・管理できる

3 ビデオメモリ

表示装置の能力に関する装置

→ より多いほうが、より高度な表示(詳細度・発色)が可能になる

補助記憶装置の分類

いろいろ種類がありますがポイントになるのは3種類
メインメモリの機能を補助

2-1. 磁性体 (磁石) で記録

ハードディスク

→ SSD?

2-2. レーザー光線 (光) で読み書き

CD, DVD, BD

→ ×?

2-3. ICメモリ (半導体メモリ) を使用 ← メインメモリ

フラッシュメモリ

→ ○

利用 (シェア) がすすめば、メディアの価格は劇的に下がってくる。
ただし、情報を長期間・安全に保管できるかは別の問題。

フラッシュメモリの性質

お願い？アドバイス？

丁寧に扱う。手軽で安いけど精密機器！

湿度が高ければ錆びるし接触不良も起きやすくなる。

パソコンには丁寧に接続し、きちんと取り外す。

「使えば使うほど劣化する。劣化するとデータ保持期間が短くなっていく。」

例えると・・・

「充電電池・バッテリー」みたいなもの？

充電最大回数が存在する(寿命がある)

使っていると劣化し電池の持ちが悪くなる(劣化する)

ほおっておくと電気が抜けて空になる(情報が消える)

結論：データの長期保存には向かない

→ データの一時保存用

→ では本体はどこに保存する？